

東白の松風

公立学校退職校長会東白川支部

発行責任者 古 張 金 一

◆ 創 刊 平成2年8月1日



課題解決に向けて恕の精神で

支 部 長 古 張 金 一

支部長として2年目を迎えました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

令和7年度は、3名の方々が、賀詞表彰を受けられます。誠におめでとうございます。感染症への不安はありますが、コロナ禍前のように事業が開催できるようになってまいりました。10月には、研修旅行も開催される予定です。親睦の輪が広がっていくことを期待しています。

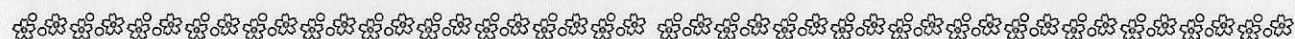
さて、4月開催の県評議員会では、役員改選があり、3名の監事の一人に東白川支部長が選出されました。県の会長からは、新会員の入会勧誘、東北地区退職校長会協議会長の任にあたること、松風の発行2回の配布、会津大会での宣言の参加者全員による唱和などのお話がありました。さらに、会員数の減少により、経費削減が求められるので、DXにより様々な業務を節減していくとのことであります。

評議員会の開会に先立ち、福島県教育庁特別支援教育課長斎藤茂子様による特別支援教育についての講話がありました。合理的な配慮についてなど大切な内容が多くあり、さらに理解を深めることができました。

7年度末の新会員予定者は、県全体として126名です。東白川支部では、小学校1名、高校1名の予定者がおります。是非、勧誘により会員になっていただきたいと思います。

県全体の課題と東白川支部の抱える課題は同様であります。会員数の減少は、他支部より厳しい状況にあります。支部の事業の成果の発信により、存在意義を理解いただき、会員数の確保ができればと考えます。年金額の増額など改定が6月にありますが、高齢者にとっては、生活の不安が増大しています。お互いに情報交換し、恕の精神で、退職校長会東白川支部を盛り上げていただければと考えます。今年度の事業が、順調に進み、少しでも福利厚生が改善が図られ、親睦の輪が広まるよう努めます。今年度、会員の皆様方のご活躍並びにご多幸をご祈念申し上げます。

令和8年6月11日(木)には、退職校長会県大会西白河大会が開催予定です。皆様のご協力よろしくお願いいたします。



令和7年度総会を開催

< 日 時 > 令和7年4月19日(土) 10:00~14:00 < 場 所 > 新富家会館

< 日 程 >	総 会 (50分)	休 憩	研 修 会 (50分)	クラブ打合せ (20分)	移 動	懇 親 会 (105分)
---------	--------------	-----	----------------	-----------------	-----	-----------------

28名の会員の出席のもとに行われました。今年度は新入会員の入会はありませんでした。研修会の講師は、矢祭町長 佐川正一郎様で、「矢祭町ゆかりの偉人 吉岡良太夫の生涯」と題して講話をしていただきました。幕末に幕臣となり、咸臨丸に乗船するなどして活躍した生涯を資料をもとに分かりやすくお話していただき、地元の偉人のことを知るととても良い機会となりました。



お帰りなさい**～東白川に16年ぶりに戻って～****鮫川村立鮫川中学校 校長 小野里高広**

この3月で60歳の校長として役職定年を迎えて、3年間の矢吹中学校長としての勤務を終えました。私は、62歳まで定年が延長されたのであと2年間でどのような立場で勤めようかと考えておりましたが、今年度からの特例任用校長として勤務できる制度により、この4月から鮫川中学校でお世話になることができました。東白川での勤務は、教諭として平成22年3月に塙中学校を離れて以来ですので、実に16年ぶりのこととなりました。実は、現任校の鮫川中学校は、教職に着いて2校目の学校であり、34年前から4年間勤務しました。当時中学校に在籍していた子ども達は、今年度44歳から49歳の年齢となり、現任校の生徒の保護者となっているのが12名いて、全在籍生徒の5人に1人の割合です。この12名のうち、ほとんどが子どもをよろしくと声をかけてくれ、「当時の生徒がずいぶん頼もしい姿になった」とか、「子どもはやっぱり親に似るもんだ」などと教育者冥利に尽きる味わいを楽しんでいます。その一方で、再会した教え子と話す機会が増えたり、じっくり話す時間を持てるようになったりすると、それぞれの人生にもいろいろあって、職場の人間関係で苦労したことや、自分の子どものことで悩みを抱えていたりする話を聞くようにもなりました。「教え子も大人として生き、子の親となるのはこういう現実を背負うことになるのだな」とまたひと味違った感慨を味わってしまいます。そういった教え子には心からのエールを送るばかりですが、目の前の子ども達の健やかな成長のためには教育活動を充実させることが第一との気持ちを新たにしているところです。東白川というホームグラウンドで、これまで教員として育てていただいた最後の恩返しをさせていただきたいと思っています。お世話になります。

**第59回福島県公立学校退職校長会会津大会に参加して****副支部長 面川 春男**

6月10日（火）南会津町「御蔵入交流館」に於いて「共生と持続可能な社会の実現に向けて貢献するために」をテーマに開催されました。下重顧問、古張支部長との3名で参加しました。早めに会場に到着し、早速会場入り口で記念撮影をと考え移動しましたが立て看板が見当たりません。今回の開催大会テーマと関連して、4つの目標の実践に心がけた大会にしたためです。環境に配慮し、極力「資源の無駄を省く」大会を目指したためです。要項も必要最小限度の資料に収め、可能であれば紙ベースを廃止するまで考えた旨の説明が実行委員長から話されました。当然その流れで、講師の専任も行われたようです。

講演者は合同会社ねっか代表の脇坂斉弘氏「米焼酎ねっか 只見で生き抜く」の演題で熱い内容の講演をされました。移住者であり、地元根付く産業興し、後継者が育つ企業の実践者です。小学生や只見高校の生徒を巻き込んだ酒米作り、南郷トマト生産農家仲間、行政を巻き込み、JGAP認証圃場を確



保し世界に羽ばたく焼酎造りを実践されております。各地区代表者の体験発表も機知に富み、伊達支部の矢館実也氏は、35枚の見事な写真をフル活用して「写真人生」を語り、田村支部の安瀬一正氏は、「会員の交流を軸とした持続可能な会活動を目指して」。双葉支部の小野田敏之氏は、「震災と事故後14年、双葉の今」を熱く語ってくださいました。次年度は、県南支部西白河大会になるそうです。

祝 賀 寿 < 白石信雄先生 > 95歳 昭和5年3月14日生

白石先生の誕生日に、支部長、副支部長と庶務が訪問し伝達いたしました。

白石先生の教員人生は、師範学校卒業して先生の地元鮫川村立渡良瀬小から始まり、常豊小、鏡石一小、常豊小、東館小、教頭として鮫川小、社川小、校長として内川小に勤務されました。勤務校8校と少ないのは、1つの学校の勤務が4年から7年と長く、7年勤務された学校が3校あるそうです。師範学校時代の思い出は、オルガンが壊れていて練習できるものが一台もなく、1台あるピアノは音楽専攻の人たちがずっと使っていて、練習できずに困ったこと。初任の渡良瀬小時代は、中学校と職員室が一緒に中学生の兄弟が2名いて、小学校には従姉妹が在籍していてその担任したこと。中学校にいた音楽の得意な先生が転勤してしまい、その代わりをやることになり、その時から自己流で練習してなんとかやることができたこと。中学生の兄弟にも音楽を教えたこと。教頭昇任した鮫川小時代は、卒業式の前の日に大雪が降って家に帰れずに村内に泊まり、卒業式の朝に礼服一式を家族に届けてもらい、何とか卒業式を終えることができたこと。一番の思い出は、鏡石一小時代に県の体育研究指定校発表のために保護者の方々にも協力してもらい、研究発表会を無事終えることができたことだそうです。

これからも長い教職経験で培った経験を、本支部のためにお聞かせくださいますようお願いいたします。今後、ますますご健勝でお過ごしくださいますようご祈念申し上げます。

**祝 賀 詞 < 二瓶正夫先生 > 88歳 昭和12年3月23日生**

二瓶先生の誕生日に、藤田・面川両副支部長と庶務が訪問し、賀詞を伝達いたしました。

県北福島市出身の二瓶先生の最初の勤務校は東白川郡の内川小、その後、近津小、唯一の郡外の白河三小、棚倉小、教頭として鮫川小、常豊小、校長として当時東白川郡内の古殿の山上小、下関河内小、東館小で退職ということで、県南管内で40年9校でご勤務されました。先生は学生時代から運動が好きで、学生時代体育研究部に属して、活動していたそうです。いちばんの思い出は、新採用の内川小勤務時代だそうです。当時の内川小には教員住宅はなく、地域の農家に下宿して、赴任してからすぐに自転車を購入して学校まで通ったこと。当時、男子野球部と女子ソフトボール部があり、両方指導し、女子ソフトは2年連続県大会に出場したとのこと。当時は宿直当番があり、先輩の先生の分も宿直をしたことがあり、手当が支給されたが、あまり好きではなかったこと。放課後は、洋服販売が来て、持参した商品の背広を実際に着用して、気に入ったものを購入したこと。趣味は麻雀で、退職校長会でも東南クラブに在籍して、メンバーの先生方と卓を囲むのが楽しみだったこと等、貴重なお話を伺いました。40年間勤務できたのも、バックアップしてくださった先生方と奥様の支えがあったからと穏やかな表情で話されたのが印象的でした。

これからも長い教職経験で培った経験を、本支部のためにお聞かせくださいますようお願いいたします。今後、ますますご健勝でお過ごしくださいますようご祈念申し上げます。

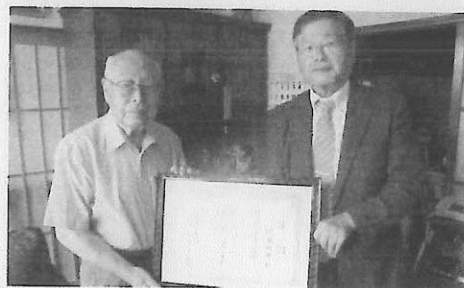


祝 賀 詞 < 佐藤碩芳先生 > 88歳 昭和12年7月10日生

佐藤先生の誕生日に、古張支部長以下、藤田、面川両支部長と庶務が訪問し、賀詞を伝達いたしました。

矢祭町出身の佐藤先生は棚倉中で講師を勤めた後、船引町立今泉小で新採用、その後小野中、高野中、片貝中、棚倉中、矢祭中、教頭として泉崎中、塙中、校長として片貝小、笹原小にご勤務されました。思い出多いのは棚倉中で、講師として教職をスタートし、2回目は10年間勤務し、生徒指導に明け暮れたこと。当時郡内で文化祭をやっていた塙中に実際に見学に行き、棚倉中でも文化祭を実施するようになったこと。高野中時代に車の運転免許を取り、自家用車で通勤できるようになったこと。泉崎中時代は、旧校舎から新校舎に引越があり、棚倉中統合時の資料を参考に、引越計画をつくり、無事に引越を終えることができたこと。小学校の教頭先生が事故報告の書き方を習いに来たこと。塙中時代は、3年勤務して3人の校長先生にお仕えしたこと。片貝小校長時代には、片貝中時代の教え子が保護者としていたので、学校活動にたいへん協力してもらったこと。生徒、先生方、保護者の皆さんにたくさん助けていただいたから、退職まで勤務することができたとお話してくださいました。昨年、棚倉中時代に修学旅行先で生徒が体調を崩して入院した生徒が出て、旅行先に保護者に来てもらい、泣く泣く置いてきた生徒がいて、その生徒が家に来てくれたという話が印象的でした。

これからも長い教職経験で培った経験を、本支部のためにお聞かせくださいますようお願いいたします。今後、ますますご健勝でお過ごしくださいますようご祈念申し上げます。



令和7年度のクラブ活動計画

【山野草クラブ】 部長 山本 純 会員数 7名

- 基本計画 ・自然に親しみながら、会員の心身の活性化を図るとともに親睦を深める。
- 事業計画 ・年1回の研修を実施、山野草に対する理解を深め、栽培活動に生かす。

【東南クラブ】 部長 渡邊 勇喜 会員数 5名

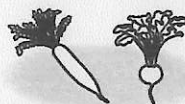
- 基本計画 ・指先と脳の機能衰退防止とともに、卓を囲み会員相互の親睦を図る。
- 事業計画 ・各学期1回、年3回、6月中旬、10月中旬、3月下旬頃、具体的には連絡を取り合って実施日を決定する。

【ゴルフクラブ】 部長 渡邊 勇喜 会員数 12名

- 基本計画 ・コンペを行い、会員相互の親睦を図り、各自の健康と技術の向上を目指す。
- 事業計画 ・コンペは、5、6、7、9、10、11月の年6回を定例会として実施する。

【園芸クラブ】 部長 生方 和廣 会員数 14名

- 基本計画 ・種をまき、育て、野菜食からの健康づくりをする。
- 事業計画 ・年間を通して、季節に応じた野菜づくりをする。



訃 報

本会会員

根本 忠義 氏(89歳)が、
4月1日に、ご逝去されました。
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



編 集 後 記



原稿のご寄稿、ありがとうございました。今年は6月から暑い日が続きましたが、いかがお過ごしでしょうか。これからも暑い日が続きますので熱中症には十分気をつけながら、暑さに負けないように過ごしていきたいですね。
(西牧・吉田)